

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂町字川澄 1	
所在地	
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は800床の病床、32の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。また、令和3年には東部・西部医療センター、令和5年にはみどり市民・みらい光生病院、令和7年にはリハビリテーション病院が名古屋市立大学の医学部附属病院になり、全国最大規模の大学病院群となりました。令和8年度には救急災害医療センターの開棟を予定しており、より一層進化を続けております。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学病院臨床検査科専門研修プログラム

臨床検査専門医は3年間の専門研修で育成されますが、週3日で5年間などアレンジすることも可能です。また1日の勤務時間に制約がある方の希望にも応えられます。期間中に臨床検査基本7科目（臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学）を研修します。臨床生理学研修（超音波）の優先を推奨しますが、基本的には専攻医の自由です。プログラム修了時には一人で検査報告書を作成し、診療科からのコンサルトへの的確な対応を目指します。

<研修モデル>

年次	施設	研修内容	その他
1 前半3ヶ月 後半9ヶ月	名古屋市立大学病院	臨床検査医学総論 臨床生理学(全脱) 臨床生理学(超音波検査) 一般臨床検査学	研究開始
2	名古屋市立大学病院	臨床血液学 臨床化学	
3	名古屋市立大学病院	臨床微生物学 遺伝子関連検査学 臨床免疫学・輸血学	研究まとめ

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

□ メッセージ

中央臨床検査部 部長 井上 貴子

多様な方向性を生かした、
個性ある臨床検査医を目指
して。



エコーの手技を究めたい方、精度管理のスペシャリストになりたい方、研究センターにやりたい方…いろいろな方向性を目指す方に対応します。全国に約600人（2023年2月時点）しかいない臨床検査専門医は、非常に貴重な存在です。当施設の専攻医の方には、研究者や大学病院・基幹病院の臨床検査医としてリーダーシップが発揮できるよう、効率的なキャリア形成を支援していきます。

□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせの人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	357,900円～436,200円	（勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる）
・当直回数／月	4回程度	（診療科により異なる）
・当直料／回	24,000円～34,000円	
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者 電話番号 Eメール	管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当 052-858-7527 s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp